

社会資本総合整備計画 事後評価書（原案）

平成27年 7 月 1 6 日

計画の名称	安全で快適に暮らせるまちの実現		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	富士見市
計画の目標			

下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

計画の成果目標（定量的指標）

①下水道処理人口普及率を93.0%（H22）から96.0%（H26）に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（97,906人）／総人口（105,267人）	93.0%	94.0%	96.0%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	812百万円	A	725百万円	B	0百万円	C	87百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	10.7%
-------	---------------	--------	---	--------	---	------	---	-------	---------------------------	-------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
富士見市下水道事業審議会	平成27年7月16日（木）
	公表の方法
	富士見市ホームページによる

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
柳瀬第9処理分区																	
A1	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	県道市道	下水道	柳瀬第9処理分区の污水管整備	L = 6.4 km	富士見市						381	
新河岸第14処理分区																	
A2	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	県道市道	下水道	新河岸第14処理分区の污水管整備	L = 3.2 km	富士見市						325	
砂川堀第4-2処理分区																	
A3	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	市道	下水道	砂川堀第4-2処理分区の污水管整備	L = 0.8 km	富士見市						19	
											合計	725					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
											合計	0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

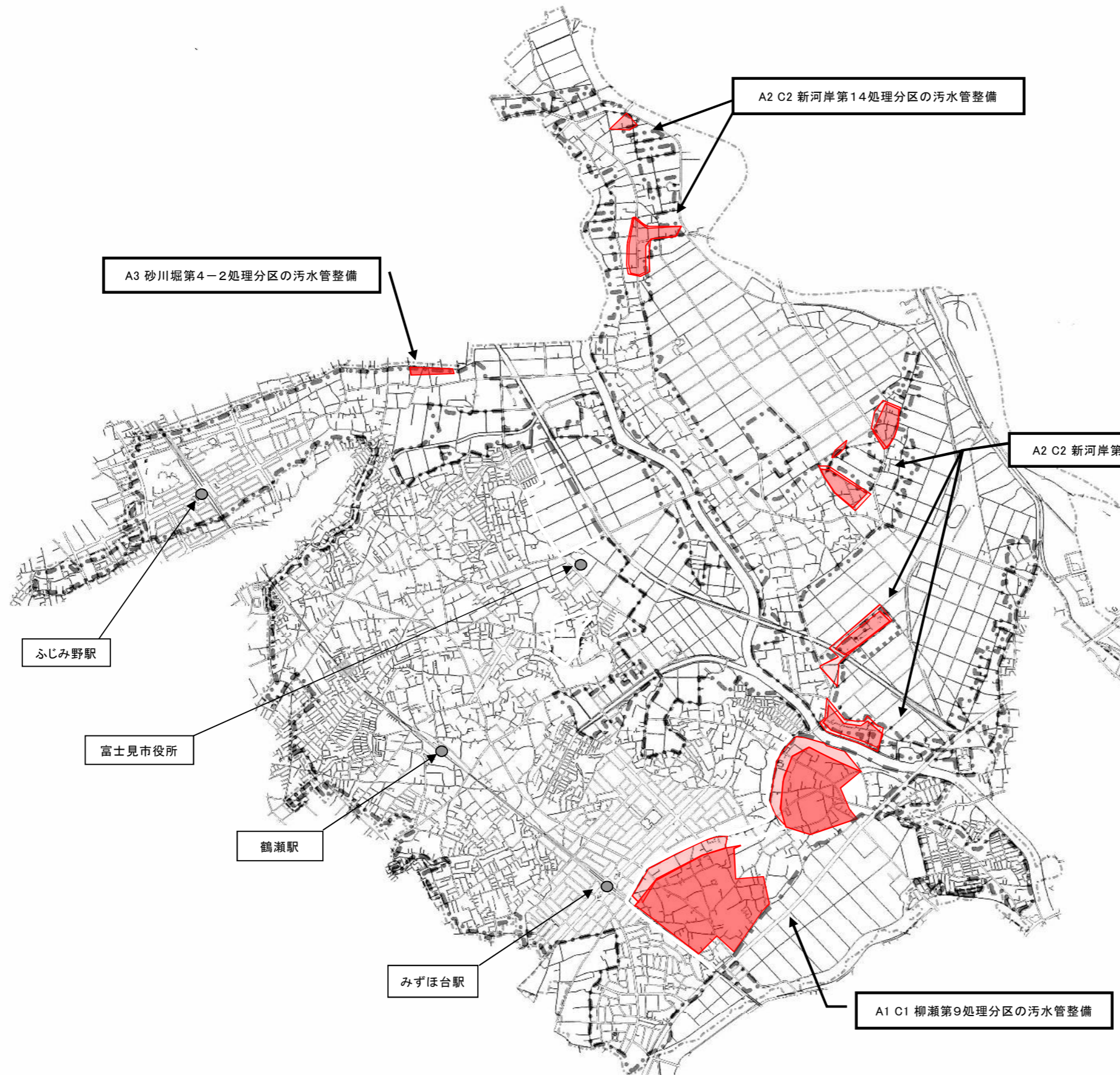
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
柳瀬第9処理分区																
C1	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	下水道	柳瀬第9処理分区の污水管整備	L=0.6km	富士見市						34	
新河岸第14処理分区																
C2	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	下水道	新河岸第14処理分区の污水管整備	L=0.9km	富士見市						53	
													合計	87		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C1	基幹事業である幹線と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、下水道接続を促進し、都市水環境を保全する。															
C2	基幹事業である幹線と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、下水道接続を促進し、都市水環境を保全する。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		安全で快適に暮らせるまちの実現に向けた取り組みとして、公共用水域の水質汚濁防止対策のため、計画的かつ効率的に下水道を整備することで、下水道処理人口普及率の目標を達成した。			
II 定量的指標の達成状況	指標①下水道処理人口普及率	最終目標値	96.0%	目標値と実績値に差が出た要因	計画的に污水管渠を整備したことで目標を達成した。
		最終実績値	96.1%		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)		H22当初からH26末の5年間で下水道処理区域面積は、836.55 ha から 975.19 ha になり 138.64 ha が整備された。5年間の整備面積のうち、本整備計画の区域面積は 100.32 ha で、内訳は柳瀬第9処理分区 61.77 ha と新河岸第14処理分区 34.96 ha と砂川堀第4-2処理分区 3.59 ha となる。また、その他の区域面積は 38.32 ha となる。			
3. 特記事項(今後の方針等)					
公衆衛生の向上や河川等の水質保全を図るため、次期(H27年度からH31年度)社会資本総合整備計画においても、引き続き公共下水道の整備を行っていく。					

(参考図面) 社会資本総合整備計画

計画の名称	安全で快適に暮らせるまちの実現		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	富士見市



凡 例	
---	事業計画区域
	整備区域 A 基幹事業 (H22～H26)
	整備区域 C 効果促進事業 (H22～H26)